










凡 例

表 示	建築基準法による 道路の取り扱い	備 考
	42 条 1 項 1 号	道路法による道路で、幅員 4 M以上のもの。
	42 条 1 項 2 号	都市計画法・土地区画整理法、旧住宅地造成事業に関する法律、都市再開発法等による 4 M以上の道路。
	42 条 1 項 3 号	建築基準法第三章の規定が適用されるに至った際（昭和25年当時）、現に存在する道で 4 M以上のもの。
	42 条 1 項 4 号	道路法・都市計画法等で事業計画のある道路で、2年以内にその事業が執行される予定のものとして、特定行政庁が指定したもの。
	42 条 1 項 5 号	土地を建築物の敷地として利用するため、道路法・都市計画法等によらないで築造する道で、築造者が特定行政庁から位置の指定を受けたもの。 （数字は見出し番号を示す）
	42 条 2 項	建築基準法第三章の規定が適用されるに至った際（昭和25年当時）、現に建築物が立ち並んでいる幅員1.8M以上 4 M未満の道。
	特定通路	建築基準法による道路ではないが、一定の制約条件のもとに、42条の道路に準じた取り扱いをしているもの。 （詳しくは、担当者にご相談下さい）
	廃止道路	42条1項5号・42条2項などの道路を廃止したもの。
表 示	参考事項	備 考
	無接道	道路と隣接地の間に隙間があり、道路に接していない部分。